

研究課題名	感性情報の可視化による感性コミュニケーション確立に向けた基盤研究：神経発達症者を対象とした感性の定量評価系の確立
研究期間	許可日 ～ 2026年3月31日
研究の対象	2021年2月1日に許可された観察研究 E2020-2341 (E-2341) において、既に文書での同意を行った研究対象者の皆様
研究の目的・方法	<p>研究目的：</p> <p>神経発達症者の感性情報を可視化・定量化することで、治療者・支援者から患者への理解につなげ、治療・支援の質の向上に寄与することを目指します。また、感性情報を理解しやすい形で提示できることにより、患者の自己理解を促し、社会性の向上に寄与できる可能性があります。</p> <p>研究の方法：</p> <p>同意が得られた対象者に対して心理検査を実施します。また、脳波計（EEG）を用いて視聴覚の認知に関わる心理課題時及び安静時、及び自己評価等に関する課題遂行中の脳機能や。心拍、呼吸数、顔表情、視線、眼振、瞳孔径などの等の生理指標も同時または単独に測定します。また、3つの先行させたトーン音（快画像を想起させるもの・不快画像を想起させるもの・未知のもの）を聴いていただいた後、今後にあられる画像の予測をしてもらいます。参加者は画像を見ながら、タスク中にその感情的を判断し、研究直後に期待・快さ・活性度・ワクワク感・不安感に関する主観的な経験を評価します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、診断名、心理検査結果、脳波測定結果等 使用するデータには個人が特定可能な情報は含まれていません。
外部への試料・情報の提供	外部への情報の提供は行いません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日(2021年2月1日)以降
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	<p>本学の研究責任者（研究代表者）</p> <p>広島大学脳・こころ・感性科学研究センター</p> <p>特任教授 山脇 成人</p> <p>共同研究機関</p>

	<p>東京大学次世代知能科学研究センター 准教授 大黒 達也</p>
その他	<p>※あなたに同意いただいた後で研究計画が変更された内容について情報公開を行っています。</p> <p>【変更内容】 研究責任者・研究者の変更、研究機関の追加、対象者の追加</p>
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 脳・こころ・感性科学研究センター T e l : 082-257-5566 広島大学脳・こころ・感性科学研究センター 研究員 田中 政輝</p>